

ハンマーの輝き—復興の響き

それは新永代橋

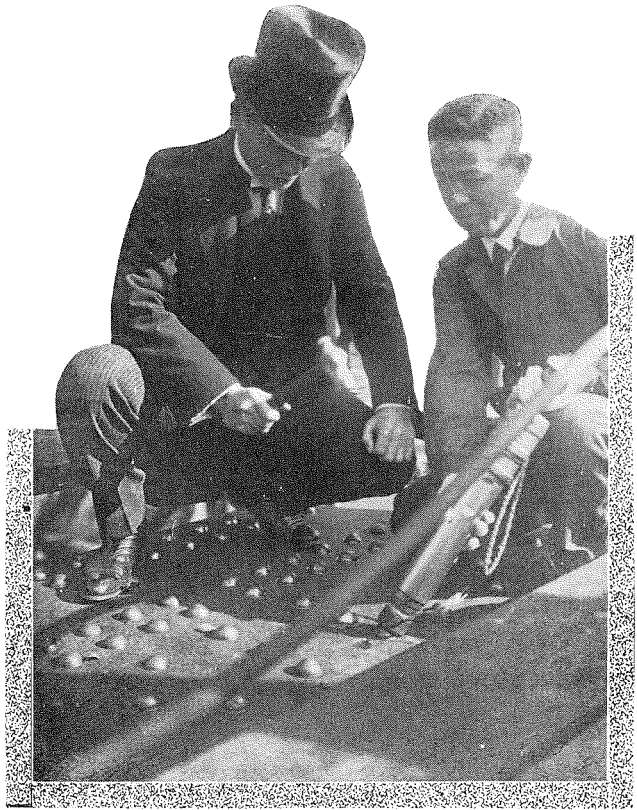
最後の鉦打の光景であつた。

工事主任 正子重三

技師は次の如く語る

大正十三年十月二日、壓搾空氣潜函工事施行の爲め、米國から招聘した三人の技師が來朝して、其準備に取かゝつてから、昨年十二月廿二日の開通式までの事を顧るに、全く無我夢中で、處構はず盲ん坊をして走り廻て居た様な氣がします。併し私に取つては、此間が今迄で一番楽しい時であり、又技術者として興味を味ふ事が出来た様に思ひます。永代橋工事は、私の現場工事に従事する最初の経験で、事實自分で自分が何けて居るか解らぬ位で、何んでも事にぶつかつてから例の盲ん坊の驅を足をするので、實に忙しい思をしました。殊に潜函工事は御師匠付きですから安心はして居りましたが何分其御師匠様方は、日本の習慣さか市場さか、米國と同じ様に思て居るので、必要な品でも其日まで注文しないさ云ふ仕末で、手続きさか、購買が遅れるに、仕事に差支へるから何んさか間に合せせねばならぬから、毎日毎日例の驅け足でした。それで此間私は仕事に對して、不安に思ふさか、心配する事は極めて少く、順調に出来上るもの、様に思て居りました。そして其豫期以上順調に完成したのは、全く不思議でしたが、其れには種々な原因が有ると思ひます。

まづ第一に私共の上官や先輩の方々が、親切に御指導下さつた事です。事毎に教を乞ひ又私共の氣の付かぬ處は、充分御注意して下さい、其を頼りにして安心して仕事をしました。第二は従業員一同が、一身同體になつて



(13) 中央主桁最後の鉦打式に堀切長官と正子技師とが立會へる光景

(13) Mr. Horikiri, The Chief Officer and Mr. Masako, The Enginer were hammering The last Rivet at The Reveting Ceremony.

熱心に仕事をした事です。潜函工事酷なるさき、多くの潜函病者を出し、人員缺乏を來したる時に、自ら進んで二晝夜三晝夜と繼續して此過激なる仕事に従事したる例も再三あり、又開通式直前に、晝夜引續き鉦打ちをして、鉦を打ちつゝ、根も盡果て、卒倒した職工も有ります。尙其他俱に働いた者にも其眞價の味へる涙ぐましい獻身的努力によりて、斯くまで都合よく仕事が出来たのです私は如何なる難事業も、其従事業員が一致協力して、仕事を第一に、自からを第二にして事に當れば、案外樂に仕遂ける事が出来るものと思ひます。